

2023年4月

からし種

カトリック片瀬教会



次の世代に目を向けましょう

ブランチフィールド神父

3月21日春分の日、窓から見て殆どの木には新芽が出て、川の畔の桜が咲き始めています。もう春です。

今日は祭日ですので、教会前の散歩道は普通よりも賑やかです。犬の散歩やジョギングの皆さんの他に、若い世代の人が目立ちます。男女数人の組がリュックを背負いながら公園の方へ通ります。中高生の男の子が自転車に乗って通ります。

この場면을眺めながら思いました。次の世代を支える皆さんを今見ていると、60年前に私は彼らと同じ立場でした。片瀬教会の皆さんの中にその時の仲間が残っています。

昨日のこと、病気のご主人のために祈るつもりでいらした年配のご婦人は、私をびっくりさせました。「神父様。あなたは私の結婚式をここで挙げて下さった人です！」

50年以上前のことでしたが、私は出会って嬉しかった。そして、病気のご主人のために祈ります。しかし、そのことは考えるきっかけとなりました。過ぎ去った60年は私の時代であった。自分の時代の支えの為に何ができたでしょう？ 神の愛のメッセージを十分に皆に伝えたでしょうか？ 復活祭までに、これは考える材料となりました。

ここで若い皆さんに申し上げたいことがあります。「神様の愛に必ず繋がっていないさ。い。」お父さんお母さんの皆さんには、子どもたちに神の愛を伝えて、彼らの為に温かい雰囲気のある家庭を作り、神の名が尊敬されて、できれば祈りのある家庭、そしてできれば教会に連れて来て信仰の雰囲気を体験できるように…。

60年先のこの世界がどういう状態になるか、だれも想像できません。しかし、将来に向かって神の愛に信頼して頼らなければならないことは否めない事実です。

皆さん、復活祭おめでとうございます！

2023年4月度 教会委員会議事録

開催日時：2023年3月19日(日)午前11時40分～13時15分

出席者：ブランチ神父、委員長、副委員長、副委員長、財務、典礼、宣教司牧、福祉、総務、
教会学校、中高大青会、一粒会、特命非常勤、市内別教連絡)、シャルル聖^パカ修道女会、
聖母訪問会

□ブランチ神父のご挨拶

復活祭まであと少しです、頑張りましょう。コロナの影響から解放されてきているので復活祭もそのつもりで祝いましょう。祭壇のスクリーンもはずすのを決めてもいいかも知れません。互いに求めるよりも励まし合っていきましょう。子ども達も戻ってくるように働きかけましょう。

□報告および連絡事項

1. 4月2日～9日の聖週間のミサ・典礼について典礼部がまとめた別紙資料に基づき確認を行った。
特記事項 1) 3月31日10:30～ 枝づくりを行う。メンバー募集要。
2) 4月6日 聖木曜日の洗足式のメンバーは当日に決める。
3) 4月9日 復活の主日 10時ミサの入祭は、ハンドベルとウクレレの演奏閉祭後、聖歌隊+有志による「Cantate Domino」を歌う。
2. 教会のFAX番号は、TELと同じ0466-22-4646となった。外部にぶら下がっている古い電話線の処理については、(宮繕)でNTTかJ:COMに問い合わせる。
3. 3月26日の大掃除は、8時ミサ後信徒会館、10時ミサ後聖堂を行い、ワックスがけをする。聖堂掃除後、外回りの清掃をする。
4. トイレ掃除は、日曜日ミサ後コミュニティ毎の清掃時に行う。身障者用トイレも含む。身障者用トイレは鍵をかけず誰でも使用できるようにしておく。
週1回だけやるのではなく、他の曜日(例:金曜日)でも有志がいれば願う。
5. 信徒会館外装修理は、現在見積内容を精査中、5月度委員会で報告し、内容承認もらえれば発注する。早ければ5月下旬から工事開始予定。
6. 聖堂入口の枯れたもみの木については植え替えを計画、片瀬造園に連絡済。
7. 共同宣教司牧サポートチームから動画講座
「キリスト信仰の見つめなおし ―初代教会とパウロの世界―」案内を紹介した。
8. ガーデニングサークルが、片瀬教会の花の写真を絵葉書にして売店で販売希望。
売上は苗や肥料、道具の購入に当てたいとのこと。⇒認可

□ 検討・決定事項

1. 信徒大会の振り返り(報告はからし種3月号に掲載)をしたが特に意見なし。
2. 4月9日 復活の主日
 - 1) ミサが8時、10時と2回あるので白百合学園の駐車場は借りない。
 - 2) 卵が品薄の為、イースターエッグは作らない。ただ、教会学校、中高大青会で桜の木にカラーペイントした卵の殻をぶら下げる飾り(ドイツの伝統行事)を作る予定。
 - 3) お祝いは、10時ミサ後に信徒会館1Fでテラスも使用してティーパーティを

行う。取り纏めは島村泰さんをお願いした。会場設営等当日は、9時から行う。
メンバーは別途募集する。

3. マドンナ会、ヨセフ会統合案に関するアンケートについて
 - 1) 内容は別紙アンケート案で承認された。但し、回答者名の記入は任意とする。
 - 2) 配布方法は、アンケート用紙を各ボックスに入れる。複数人の場合その枚数を入れる。
 - 3) アンケート用紙の印刷、ボックス入れは、3月23日(木) 13:00~行う。
 - 4) 回収方法は、回収ボックスをミサに合わせ聖堂入口に設置し入れてもらう。
 - 5) 実施日程は、3月26日~4月16日
4. 物置リニューアルは、(営繕)より別紙「物置改修計画案」で説明あり。業者に見積依頼中。聖堂裏の物置を廃し、物置を司祭館横の一か所にまとめる。現在の物置は一つだけ残し、3つは新しい物にする。
5. 2023年WYD (World Youth Day)
 - 1) 場所：ポルトガル リスボン
 - 2) 日程：7月25日~8月10日(17日間)か7月26日~8月9日(15日間)
 - 3) 片瀬教会からは2名希望者がいる
 - 4) 費用：約45万円(例年は35万円程度だが、燃料サーチャージ、円安の影響で高くなっているとのこと)
例年は教会から10万円/人援助していたが、今年は20万円/人とする
ことを決定。
6. 中高大青会より、教会から遠ざかってしまった青年への呼び掛けの取り組みとしてボーリング大会を企画。ついては、1万円程度の費用援助を希望。⇒承認。
7. 一粒会より、多くの信徒に会員になって頂きたい。申込用紙は聖堂入口に置いてある。募金は第5地区で片瀬教会が一番少ない。もっと信徒に関心を持ってもらいたい。会費の封筒を維持費と一緒にしている教会もあり、片瀬教会もこのようにしたいという要望あり。お知らせ等で啓蒙活動も必要という意見も出た。

□ 予定の確認

1. 3月20日(月) 聖ヨセフの祝日 ミサ10:00
2. 3月24日(金) 暁星中学見学 11:00 (十字架の道行の後) 10名程
マリア会高田神父司式ミサ (宣教司牧対応)
3. 3月26日(日) 大掃除 8時ミサ後、10時ミサ後
第5地区教会委員長会議 14:00
第5地区共同宣教司牧委員会 15:00 大船教会
4. 4月2日(日) 受難の主日(枝の主日) ミサ8:00 10:00
教会学校、中高大青会合同花見会
5. 4月6日(木) 聖木曜日 ミサ19:30 洗足式
6. 4月7日(金) 聖金曜日 十字架の道行 15:00 典礼19:30
7. 4月8日(土) 復活徹夜祭 19:00 洗礼式
8. 4月9日(日) 復活祭 ミサ8:00 10:00

次回委員会開催 4月16日

四旬節の黙想会

池尾昇治

3月12日に植栗神父指導による黙想会が行われました。今年の黙想会については、事前にどのような黙想会がいいかと神父からお尋ねがあったので、「心落ち着ける黙想会を希望します。そのため共同回心式とは別にしてください。ミサを1回にして信徒の出入りのざわつきを無くしてください。」とお頼みしました。ブランチ神父も同意して下さい、「赦しの秘跡はいつでもやりましょう、だから共同回心式はしなくていい。」と仰って下さいました。

そういうわけで、今回の黙想会は、ヨハネの福音書10章7～18節が植栗神父により2度読まれ、その中から心に残った2つのセンテンスを書き、10回心の中で繰り返し、その後神様と対話するように自分の気持ち、思ったことを黙想しながら書いていく、というやり方でした。黙想している途中、神父が、「この教会は小鳥のさえずりが聞こえます。その声に心を向けましょう。」と言われました。一つのセンテンスに30分近く時間をかけゆっくりと神様と対話する時間を頂きました。60～70名程の参加だったでしょうか。終わりに四旬節の祈りと、典礼聖歌「主はわれらの牧者」を歌って閉会となりました。

終了後、何人かの方から、今回の黙想会は心落ち着けて黙想ができた、といい感想を頂きましたし、植栗神父も「最後の聖歌もいつもと違って聴こえました。」と満足されていたようでした。常日頃、心を落ち着けて神様と向き合う時間がなかったので今回の黙想会はとても有意義な会になったと思います。



一粒会だより

♪主の食卓をかこーみ いのちのパンをいただき
すくいさかずきをのみ 主にあつてわれらはひとつ♪

私たち、主にある兄弟姉妹は、司祭のもと、教会に集まり
主の食卓を囲み 主の十字架をたたえ 御国を待ち望んでいます。
司祭は靈魂に必要な助けをもたらし、私たちを神の国へ導くという、
尊い使命を神様から託されています。

そして、その使命を全うするために、ご自分の全てを神様に捧げておられます。
けれど今、教会にとって大切な司祭の数が減り、神学生の数も大変少なくなって来
ています。

どうぞ主よ、神様の召命に応じて、将来司祭を志す神学生が一人でも多く生まれ
ますように…。

私たち一人ひとりが、神学生、司祭の事を覚えて祈ることができますように…。

そして、私たちの祈りの輪がもっと広がって行きますように、とお祈り致します。

一粒会の目的は…

私たちは、司祭の召し出しと成聖の為に祈り、神学生を支える献金をし、教会の
中に隠されている貴重な宝である若者に召し出しを考える機会をもたらす働き
をしています。



一粒会への入会のお願い

聖堂の入り口の棚に、『一粒会会員申込書』が置いてあります。
ご記入の上、申し込み箱にお入れ下さるか、献金箱にお入れ下さ
っても結構です。



あなたならどうする？

—アンケートご協力お願い—

教会委員会

教会委員会報告や2月26日の信徒大会でもお話ししましたが、私たちの回りの社会環境の変化、信徒の高齢化を鑑み、マドンナ会、ヨセフ会を統合して成人信徒の会にしたかどうかを検討しています。ただ、このような重大な事は委員会だけで決められるわけでもなく、広く信徒の方々のご意見を伺って決めていきたいということで、このほど信徒を対象としたアンケートを3月26日～4月16日の期間で実施します。各ボックスには3月26日までにアンケート用紙を入れます。複数名あるボックスはその人数分のアンケート用紙を入れます(一人一枚)ので、聖堂入口のアンケート回収ボックスに入れて下さい。なお用紙の裏面に自由に意見を記入する欄を設けましたので、日頃教会に対して思っていることを書いて頂ければ有難いです。

ガーデニングサークル メンバー募集！



春の足音が聞こえてきました。教会のガーデニングを
一緒にしませんか？！

植栽、水やり、草取り、落ち葉掃き等々…

できる時にできることを、どなたでも。

是非ご参加ください！

連絡先：西田芳子 080-1129-2135

♪♪♪♪♪♪♪♪♪ 片瀬教会ガーデニングサークル ♪♪♪♪♪♪♪♪♪



年間典礼のクライマックス聖週間

○聖週間とは？

聖週間は、復活祭の直前の日曜日である「受難の主日」から復活祭までです。今年は、4月2日～9日。聖週間の典礼を行うことで、私たちは主の受難と復活の出来事を記念し、今、キリスト者の集いのうちに現存しておられるキリストと共に神を賛美し、感謝をささげることができるのです。

○受難の主日(枝の主日)とは？

キリストのエルサレム入場を記念する日です。イエスのエルサレム入城は決定的な受難の道に入ったことを意味し、この時からイエスの歩みは一直線に十字架に向かいます。ですから、この日はエルサレム入城にはじまる受難が、復活の栄光に至る道であることを思い起す日です。

○聖なる過ぎ越しの三日間

「三日目に復活し」(使徒信条)といわれますが、日没が一日の境目であるという当時のユダヤ暦の考えがもとになって主の過ぎ越しの聖なる三日間を過ごします。典礼では日曜日を主の日として主の復活を記念することになっていて、この三日間は典礼暦年の頂点となっています。

○聖木曜日

現代の暦では水曜日の日没から木曜日の日没までとなります。最後の晩餐からイエスの死、そして墓に葬られるまでです。教会の典礼では、聖木曜日の「主の晩さんの夕べのミサ」にはじまり、翌日午後3時ころ(正式にはこの時間に典礼が行われます)に行われる聖金曜日「主の受難」の祭儀までです。主の晩さんのミサは、キリストが聖体、ミサ聖祭、司祭職を制定した最後の晩さんの記念を行います。このミサの中では洗足式と聖体安置式があり、具体的な神の愛としての聖体と兄弟愛を思い起させます。

○聖金曜日・聖土曜日

木曜日の日没から金曜日の日没までが聖金曜日、金曜日の日没から土曜日の日没迄が聖土曜日となります。教会は、主の墓のもとにとどまって、主の死をしのび、祭壇の飾りを除き、この日はミサもささげません。キリストの死を黙想するとともに、十字架の勝利を賛美するために十字架の顕示後に十字架の礼拝式が行われます。

○『復活の聖なる徹夜祭』

土曜日の日没から日曜日の日没まで。私たち信徒にとって最も大事な典礼ではないでしょうか。教会は、この夜を復活徹夜祭で盛大に祝い、古来の伝統に基づき、今夜は

神のために守る徹夜とされています。参列者はあかりを灯して主の帰りを待つことをあらわすために「光の祭儀」(第一部)があり、それに続いて聖なる教会は、神が始めからご自分の民のために行われた偉大なわざをしのびつつ、また神の言葉を約束に信頼しつつ徹夜を行い(第二部「ことばの祭儀」)、やがて復活の日が近づき、洗礼によって生まれた新しい教会の成員(第三部「洗礼式」)とともに、主が死と復活を通して私たちのために準備された食卓に招かれる「感謝の典礼」(第四部)が行われます。洗礼を受けている者も、「洗礼の更新」をし、新しく生まれ変わります。これはまさしくキリスト復活の体験なのです。

○復活の主日

ミサと復活主日の晩の祈りでこの日を締めくくります。

○復活節

復活の主日から聖霊降臨の主日までの五十日間つづきます。復活節四十日目には主の昇天を祝います。

